

(11) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(13) 実用新案出願公開番号

実開平 6-56310

(43) 公開日 平成 6 年 (1994) 8 月 5 日

(51) Int. Cl.

E04F 15/04

B27H 3/04

特許記号

庁内登録番号

F1

技術表示箇所

F 7803-2E

2103-2B

特許請求 有 請求項の點 I F D (全 2 頁)

(21) 出願番号 実開平 5 2890

(22) 出願日 平成 5 年 (1993) 1 月 7 日

(71) 出願人 000204985

大建工業株式会社

富山県東砺波郡井波町井波 1 番地の 1

(72) 発明者 山上 浩

大阪市北区中之島 2-3-18 大建工業

株式会社内

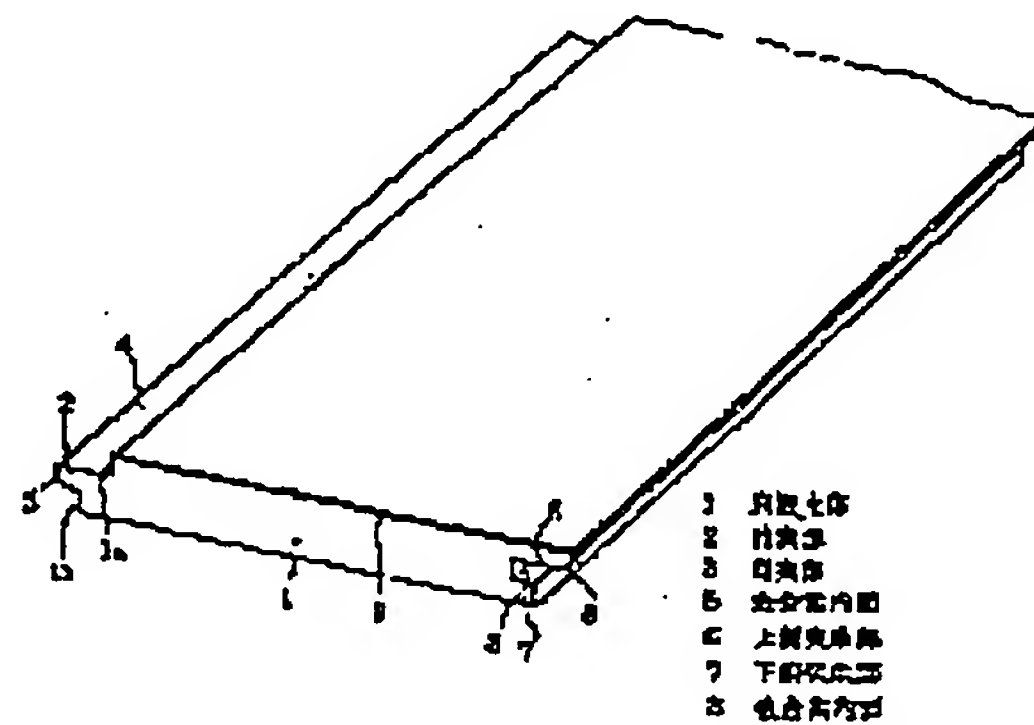
(74) 代理人 弁理士 山本 孝

(54) 【発明の名称】 床 板

(57) 【要約】

【目的】 組立床板の組合が円滑に行われて施工性に優れた床板を提供する。

【構成】 床板主体 1 の一端部中央に突設した雄突部 2 の先端面を上端から下面中央部に向かう円弧状の嵌合案内面 5 に形成すると共に雄突部 2 の上面を幅広の嵌合平坦面 4 に形成する一方、他端部中央に凹設した雌突部 3 の上側突部 6 を下側突部 7 よりも大きく突出させると共にその突出端面を円弧状の嵌合案内面 8 に形成した構造を有し、先に施工した床板の雄突部 2 の幅広嵌合平坦面 4 上に次に施工する床板の雌突部 3 の上側突部 6 の円弧状嵌合案内面 8 を当接させ且つ下側突部 7 の先端を雄突部 2 の円弧状嵌合案内面 5 に当接させた状態にして嵌め合わせるように構成している。



## 【発明新案要約請求の要旨】

【請求項1】 一定厚みを有する長方形床材主体の一側端面の中央部に雄突部を、他側端面の中央部に該雄突部が嵌合可能な形状を有する雄突部を夫々設けてなる床材において、雄突部の上面突出部を下面突出部よりも幅広い嵌合平坦面形成すると共に該雄突部の突出端の上端から雄突部の下面面を斜め内方に傾斜する円錐状の嵌合案内面に形成し、さらに、雄突部の上下突突部における上側突突部を下側突突部よりもその突出部を長く形成していると共にその突出端部を上端から雄突部の開口上端縁に向かって斜め内方に傾斜する円錐状の嵌合案内面に形成していることを特徴とする床材。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明床材の一部を矢視した斜視図、

【図2】 その縦断正面図、

【図3】 施工状態を示す断面図、

【図4】 嵌合した状態の断面図、

【図5】 従来例を示す断面図、

【図6】 その施工状態を示す断面図、

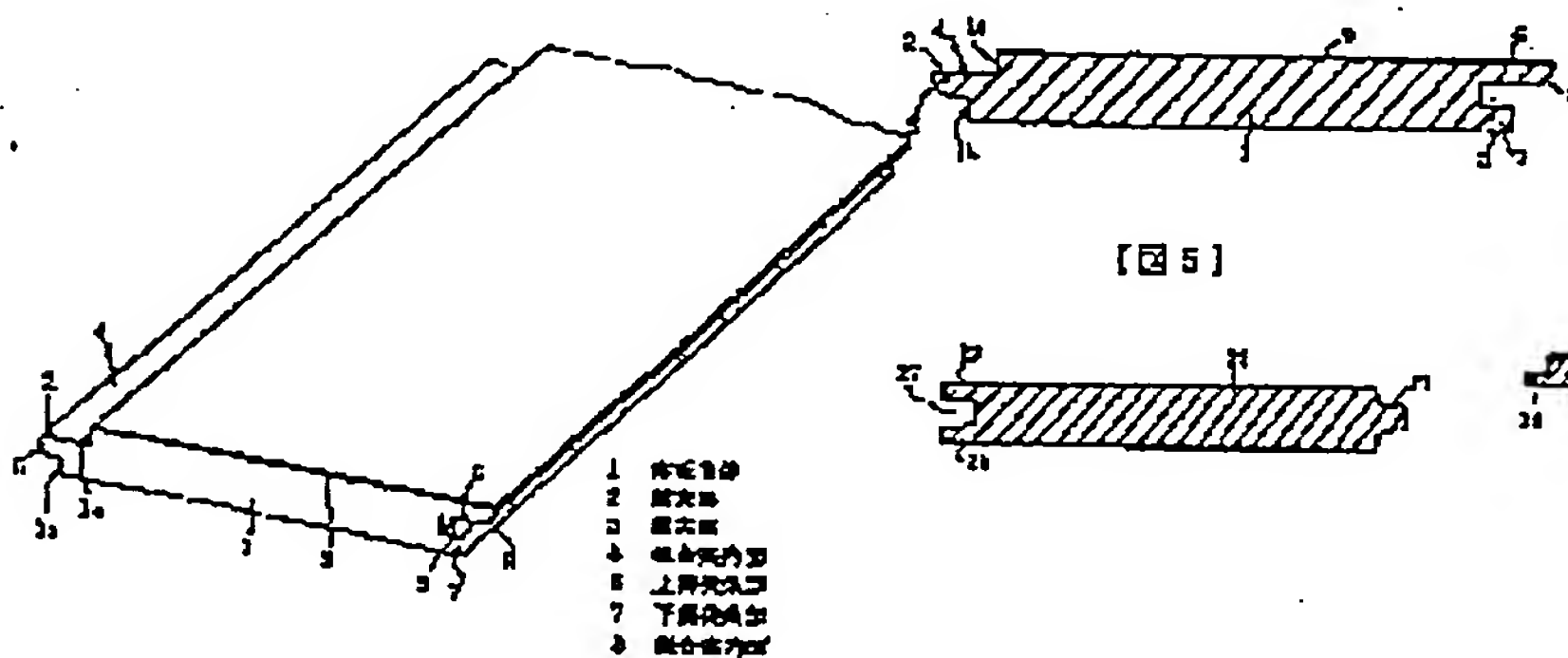
【図7】 他の構造を有する従来例の断面図、

## 【符号の説明】

- 1 床材主体
- 2 雄突部
- 3 雄突部
- 4 嵌合嵌合平坦面
- 5 嵌合案内面
- 6 上側突突部
- 7 下側突突部
- 8 嵌合案内面

【図1】

【図2】



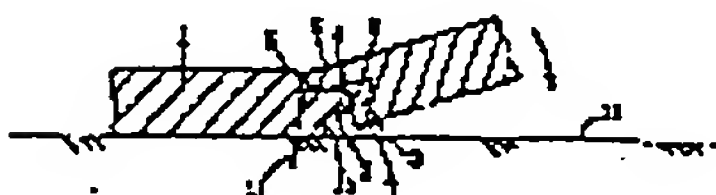
【図5】

【図7】



【図3】

【図4】



【図6】

